

第五章 昭和十六年に於ける作戦

第一節 補給路遮断作戦

我軍の北部佛印進駐に伴ひ敵は南支及中支沿岸各地に海外補給点を設定し軍需物資の獲得に狂奔せり。之に対し我軍は敵の補給点と判断せらるゝ各地点に対し上陸作戦を行ひ軍需物資の奥地への輸送遮断の爲各所に作戦を実施せり。

即ち大本營は昭和十六年二月中旬支那派遣軍總司令官をして浙江省以北南支那方面軍司令官をして福建省以南支那沿岸に対し爾令夫々軍の一部を以て随時封鎖を目的とする作戦を実施すべきを命ず。

右命令に基き南支那方面軍司令官は輸入地点及補給路遮断の爲各方面に対し上陸作戦を実施せり。其状況左の如し。

一 香詔路遮断作戦（昭和十六年二月）

甲支隊（歩兵三箇大隊基幹）を以て白耶士灣に上陸し淡水、沙魚浦を占領し香港より紹興に送る物資を圍獲す。又別に乙支隊（歩兵三

箇大隊基幹）を深圳より龍岡墟を攻略せしむ。

二 雷州方面遮断作戦（昭和十六年三月）

1. 第一支隊（近衛師団の歩兵三箇大隊基幹）をして廣海寨、斗山附近に上陸台山を占領して其周邊及赤溪附近を掃蕩せしむ
2. 第二支隊（近衛師団の歩兵三箇大隊基幹）をして大石崗を附近に上陸陽江を占領せしむ
3. 第三支隊（近衛師団の歩兵三箇大隊基幹）をして龍白水東市附近に上陸せしむ。
4. 第四支隊（第四十八師団の歩兵三箇大隊基幹）をして雷州附近に上陸せしむ
5. 第五支隊（第四十八師団の歩兵三箇大隊基幹）をして北海附近に上陸せしむ
6. 吉武支隊（第三十八師団の歩兵三箇大隊基幹）をして新会附近より攻撃を開始し第一支隊と呼應し單水口附近を占領掃蕩せしむ

三、汕尾方面遮断作戰（昭和十六年三月―四月）

近衛師団の歩兵三箇大隊を基幹とする部隊を以て汕尾附近に上陸し汕尾、海豊、饒豊附近を占領し利敵物資を押收す

四、福州作戰（昭和十六年四月―五月）

第四十八師団の歩兵五箇大隊をして福州を占領せしめ

五、甲子附近遮断作戰（昭和十六年五月）

第四十八師団の歩兵一箇大隊をして甲子港及碭石に上陸し該地附近を掃蕩す

以上の如く數次に亘り上陸作戰を敢行せしも香詔路遮断作戰を除き利敵物資の押收意の如くならず十分の作戰目的を達成し得ざりき。

## 第二節 南支那方面統帥組織の變更

既述の如く昭和十五年九月我軍の一部北婆佛印に進駐せしが更に南方よりする対直慶壓迫の強化其他諸敵の要請に基き日本政府は昭和十六

九九

年七月佛蘭西政府に対し共同防衛の見地より交渉を進め七月下旬南部佛印にも駐兵することゝなれり。

斯る状況に於て大本營は昭和十六年七月五日南支那方面軍の戦闘序列を解き第二十三軍及第二十五軍の戦闘序列を令し第二十三軍に対しては印度支那に關する事項を除く南支那方面軍司令官の任務を又第二十五軍に対しては印度支那に關する南支那方面軍司令官の任務を夫々繼承せしめ此の態勢を以て十二月の大東亞戦争を迎ふることゝなれり。第二十三軍及第二十五軍戦闘序列の概要左の如し。

左記

第二十三軍戦闘序列の概要

第二十三軍司令官 中將 今村 均

第二十三軍司令部

第十八師団

第三十八師団

第四十八師團

第四百師團

獨立混成第十九旅團

第一獨立步兵隊本部

獨立步兵第六十六乃至第七十七大隊

獨立山砲兵第十聯隊

獨立山砲兵第二十大隊

迫撃第二十一大隊

獨立工兵第十五聯隊（甲）

獨立工兵第十九聯隊

獨立工兵第二十聯隊

電信第十四聯隊

三 第二十五軍戦闘序列の概要

第二十五軍司令官 中將 飯田 祥二郎

第二十五軍司令部

近衛師団

獨立混成第二十一旅団

戰車第十四聯隊

野戰重砲兵第二十一大隊

高射砲第二十三聯隊

第二十一獨立飛行隊

獨立飛行第八十二中隊（偵察）

獨立飛行第八十四中隊（戰鬥）